

「災害とともに暮らす知恵を紀南から」

—どこに、どのように住むべきか？

災害のあと、人と地域がどうつながり直すか—

参加無料

日時 2025年10月13日（月祝）13:30～16:30
（13:00開場）

会場 和歌山県立情報交流センターBig・U 講義室
（田辺市新庄町3353-9）

開催要綱QRコード



申込期間

9月13日(土)～9月30日(火)

募集定員

50名(先着順)

申込

<https://x.gd/9W8xl>



お申込QRコード

南海トラフ地震と
被害想定への向き合い方
(13:35～)

此松 昌彦 氏
(和歌山大学 教授)
想定最大クラスの地震・津波
にどう向き合うべきか、最新
の知見を踏まえて提言。

山間部の
災害リスクと2つ課題
(14:10～)

後 誠介 氏
(和歌山大学 客員教授)
2011年に見えた避難の課題
と災害リスクをわかりやす
く解説。

災害後の
地域の姿を描くには
(14:45～)

平田 隆行 氏
(和歌山大学 准教授)
被災後のまちの再生に必要
な視点とは？持続可能な地
域の未来像を探ります。

田辺白浜沿岸部の
リスクを語り合う
(15:25～)

クロストーク
3名の講師と参加者によ
る対話形式のパネル
セッション

※合理的配慮（会場でのサポート等）を必要とされる方は

2025年9月20日(土)までに、下記の間合せ先までメールにてご相談ください。なお、その時点で定員に達している場合は、ご参加いただけないことがあります。あらかじめご了承ください。



主 催 和歌山大学
災害科学・レジリエンス共創センター

お問合せ先 mail_saigai@ml.wakayama-u.ac.jp
TEL 073-457-7558（土日祝除く10時～16時）

